

《学校だより》

《第6号》

三の丸

平成25年12月16日

小田原市立三の丸小学校

学校教育目標

自然や地域・社会と共に 学び合い高め合う 心豊かで健やかな子

《わくわくハイク》

延期を経て、気持ちのよい晴天の中でかけた「わくわくハイク」。三の丸独自の行事でもあります。9月から、毎週のように集まって計画や相談を重ねてきた6年生と実行委員です。6年生は、10月15日に、職員とともに下見にでかけました。実行委員は、わくわくハイクの出発式や解散式の運営など、行事全体を盛り上げてきました。それぞれなかよし班の子どもたちは、ワッペンや旗、しおりの作成を行いました。それぞれが、自分と仲間の思いの実現のために、一生懸命に取り組んできてはじめて迎えることができた本番当日。笑顔あふれる本番となりました。



厚木子ども科学館



丸太の森



秦野戸川公園



わんぱくらんど



ハーブガーデン



お山のたいしょう



海水研究所



酒匂きらり広場



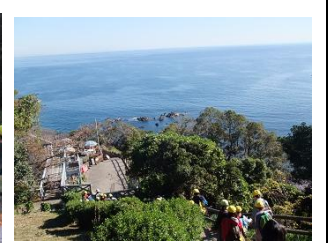
小田原アリーナ



平塚総合公園



一夜城



真鶴三ッ石海岸

《わくわくハイクをリードした6年生の感想》

☆私は、今回のわくわくハイクが、今までの中で一番楽しかったです。なぜかという、保護者向けのお便りを書いたり、しおりのリーダーになったりと、責任感のある仕事をして、その努力が報われた気がしたからです。また、行きや帰りの電車の中でも、他の学年との仲が深められたし、公園での鬼ごっこでも、みんなで楽しく遊べたので、みんなにとってまさに「最高の思い出」になったと思います。これからも、仲良し班での仲をもっともっと深めていきたいです。

☆私たち6年生は、わくわくハイクを7、8月から準備していたので、「絶対成功させたい！」と思いました。でも、初めてわくわくハイクのような重大な仕事を、班のたった5人で計画したことがなかったから、とっても不安だったけど「ワッペン作り」も協力してやったら、大変でも楽しかったし、やりがいを感じました。本番では、だれもケガをしないで、「わくわくハイクのめあて」が達成できました。準備は大変だったけど、班のみんなの笑顔が見られてうれしかったです！

《わくわくハイクに参加してくださったボランティアの方の感想》

☆子どもたちの素の姿が見られてよかったです。高学年は低学年のお世話をよくできていたと思います。一年生あたりは坂が辛くなってきた様子を見て、6年生は1年生のリュックを持ってあげることに。それを見ていた高学年が自分のパートナー（年下の学年）に声をかけるといふなんともすばらしい雰囲気。～（略）歩きながらのマジカルバナナ（ゲーム）も低学年にあわせて簡単に。帰りは少々ばてていましたが、みんなよくがんばったと思います。

《みんなで楽しむ会》

12月10日（火）には、スマイルハッピースクール（SHS）委員会が主催する『みんなで楽しむ会』が行われました。委員会活動は、5・6年生の全児童が参加し、それぞれが役割分担をし、学校生活をより豊かにするための活動を考え、話し合いで決め、実行しています。SHS委員会は、日常的に朝の挨拶運動を行っている委員会です。

当日は、児童会の今年のテーマである『みんなでつなごう心の輪』を目指した、たくさんの交流を見ることができました。



《校長室より》

☆ 今週、学校はクリーン週間として、普段できないところの清掃を行い、普段以上にきれいにする取り組みが行われました。下駄箱や傘立ての掃除など、細かいところまで綺麗にしている子どもたちの姿が見られました。

数日で、平成25年も終わります。

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、大変ありがとうございました。おかげさまで、毎日、学校中に子どもたちの笑顔が溢れています。平成26年も引き続きよろしくお願いいたします。